
システムインタフェースの変更点

システムインタフェースの変更点

介護報酬の改定等に伴う連合会とのインタフェースの変更について、その基本方針を以下に示す。

1. 外部インタフェース仕様

区分	インタフェース種類	交換情報識別番号	レイアウト方針	平成15年5月以降提出分に対する連合会の対応	
				平成15年3月以前の情報	平成15年4月以降の情報
都道府県	・事業所異動連絡票情報(サ)	追加なし	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更あり。 時間延長サービス体制、個別リハビリテーション提供体制、居住費低所得者対策の有無、夜勤体制の有無、予備01～20を設ける。 	新規格納項目が設定されていたらエラーとする。	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて新規格納項目を設定する。 異動年月日が平成15年3月31日以前の情報は未設定であってもエラーとしない。設定している場合は通常のチェックをする。
	・事業所情報更新結果情報(サ) ・事業所台帳情報(サ)	追加なし		新規格納項目を設定しない。	新規格納項目を設定する。
事業所	請求明細書 明細 食事	追加あり	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更なし。 項目の使用方法を変更する。 食事サービス費の区分をサービスコードで明細情報に設定する。 	現行通り。	新規格納項目の内容を追加チェックし、設定不要となった項目はチェックしない。
	請求明細書 特定診療費	追加あり	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更あり。 特定診療費の区分を設けず他の給付費明細欄と同様の構造とする。 		
	再審査申立書	追加あり	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更なし。 項目の使用方法を変更する。 		
保険者	償還明細書 明細 食事	追加あり	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更なし。 項目の使用方法を変更する。 食事サービス費の区分をサービスコードで明細情報に設定する。 	現行通り。	請求明細書の新規格納項目を格納する。
	償還明細書 特定診療費	追加あり	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更あり。 特定診療費の区分を設けず他の給付費明細欄と同様の構造とする。 		
	再審査申立書	追加あり	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更なし。 項目の使用方法を変更する。 		
	給付実績 明細 食事	追加あり	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更なし。 項目の使用方法を変更する。 入力識別番号を追加する。 	現行通り。	請求明細書の新規格納項目を格納する。
	給付実績 特定診療費	追加あり	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更あり。 入力識別番号を追加する。 		
	受給者異動情報	追加なし	標準負担額を居住福祉型介護老人福祉施設の居住費低所得者対策の算定に使用する説明を追加		

2. レイアウト変更に伴う請求明細書、償還明細書、及び、給付実績情報のデータ移行の考え方

交換情報のレイアウト変更にあたって、新旧レイアウト間でのレイアウト変換等のデータ移行は行わず、国保連との間で交換する情報は、常にサービス提供月時点でのレイアウトによるものとする。

(補足) 平成15年5月審査以降における平成15年3月以前のインタフェースの整理

平成15年5月以降に、平成15年3月以前の請求明細等の情報を受け付けるケースとしては、

- ①月遅れ請求
- ②過誤取下後の再請求
- ③再審査(特定診療費のみ)による、過去の請求明細の特定診療費内容の修正

がある。

食事欄および特定診療費の変更により、請求明細書インタフェース形式は以下の通り。(償還明細書も同様)

サービス提供年月によって新旧レイアウトを使い分ける方式となる。

項番	サービス提供年月	請求明細書 償還明細書 給付実績交換(受付)		審査支払システム情報 給付実績交換(出力)		必要な対応
		食事	特定診療費	食事	特定診療費	
1	平成15年3月以前	旧	旧	旧	旧	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所システムが新旧形式のデータを作成する機能を持つ。 ・審査支払システムは、特定診療費について、区分単位及び文字情報の管理・審査機能を引き続き持つ。 ・保険者システムは、特定診療費について、区分単位及び文字情報の管理・審査機能を引き続き持つ。
2	平成15年4月以降	新	新	新	新	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての事業所が新形式でデータを作成する。

3. インタフェース項目

現時点における、請求明細書、再審査申立書、受給者異動連絡票情報、及び、事業所異動連絡票情報のインタフェース項目を以下に示す。(網掛け部分の変更点である。)

3. 1 請求明細書情報

請求明細書様式第五、第十の特定診療費情報、様式第八、第九、第十の明細情報、食事情報について、以下に示す。その他の様式、レコードについては現在の使用方法を変更しない。

・特定診療費情報レコード(複数レコード)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	様式第五： 7163(現物) 2163(償還) 様式第十： 71A2(現物) 21A2(償還)
2	レコード種別コード	数字	2	04を設定する (特定診療費情報レコード)	
3	サービス提供年月	数字	6	請求対象となるサービス提供年月 (西暦年月(YYYYMM))を設定する	※2
4	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の 事業所番号を設定する	※3
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証記載の保険者番号を設定する	※3
6	被保険者番号	英数	10	被保険者証記載の被保険者の被保険者番号を設定する	※3
7	特定診療費情報レコード 順次番号	数字	2	本レコードが複数になる場合、01 ~98の順次番号を設定する レコードが1件のみの場合、及び複数 レコードの最後レコードには9 9を設定する	
8	傷病名	漢字	100	傷病名を設定する	
9	識別番号	数字	2	識別番号を設定する	※3
10	単位数	数字	4	単位数を設定する	※S
11	保険	回数	2	回数を設定する	※S
12		サービス単位数	6	対象分のサービス単位数を設定する	※S
13		合計単位数	8	保険分の合計単位数を設定する	※4 ※S
14	公費1	回数	2	公費1対象分の回数を設定する	※S
15		サービス単位数	6	公費1対象分のサービス単位数を設定する	※S
16		合計単位数	8	公費1分の合計単位数を設定する	※4 ※S
17	公費2	回数	2	公費2対象分の回数を設定する	※S
18		サービス単位数	6	公費2対象分のサービス単位数を設定する	※S
19		合計単位数	8	公費2分の合計単位数を設定する	※4 ※S

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
20	回数	数字	2	公費3対象分の回数を設定する	※S
21	サービス単位数	数字	6	公費3対象分のサービス単位数を設定する	※S
22	合計単位数	数字	8	公費3分の合計単位数を設定する	※4 ※S
23	摘要	漢字	100		

※1 交換情報識別番号と請求明細書（現物）または償還明細書の対応は以下の通り。

交換情報識別番号						様式
現物			償還			
サービス提供年月が平成13年12月以前	サービス提供年月が平成14年1月以降	サービス提供年月が平成15年4月以降	サービス提供年月が平成13年12月以前	サービス提供年月が平成14年1月以降	サービス提供年月が平成15年4月以降	
7161	7162	7163	2161	2162	2163	様式第五
7181		7182	2181		2182	様式第八
7191		7192	2191		2192	様式第九
71A1		71A2	21A1		21A2	様式第十

※2 平成12年4月17日付インタフェース仕様書<サービス事業所編>「3.5 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)

※3 4. コード一覧参照。

※4 特定診療費情報レコード順次番号が99のときのみ設定する。

※S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、※Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	※1
2	レコード種別コード	数字	2	02を設定する（明細情報レコード）	
3	サービス提供年月	数字	6	請求対象となるサービス提供年月（西暦年月（YYYYMM））を設定する	※2
4	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の事業所番号を設定する	※3
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証記載の保険者番号を設定する	※3
6	被保険者番号	英数	10	被保険者証記載の被保険者の被保険者番号を設定する	※3
7	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コードを設定する	※3 ※5
8	サービス項目コード	数字	4	サービス項目コードを設定する	※3 ※5
9	単位数	数字	4	単位数を設定する 食事サービスの場合、単価を設定する	※5 ※S
10	日数・回数	数字	2	日数または回数を設定する	※5 ※S
11	公費1対象日数・回数	数字	2	公費1対象日数・回数	※S
12	公費2対象日数・回数	数字	2	公費2対象日数・回数	※S
13	公費3対象日数・回数	数字	2	公費3対象日数・回数	※S
14	サービス単位数	数字	6	対象分のサービス単位数を設定する 食事サービスの場合、金額を設定する	※5 ※S
15	公費1対象サービス単位数	数字	6	公費1対象分のサービス単位数を設定する	※S
16	公費2対象サービス単位数	数字	6	公費2対象分のサービス単位数を設定する	※S
17	公費3対象サービス単位数	数字	6	公費3対象分のサービス単位数を設定する	※S
18	摘要	英数	20		※4

※1 設定する内容は様式による。様式と交換情報識別番号の対応は特定診療費の項を参照のこと。

※2 平成12年4月17日付インタフェース仕様書<サービス事業所編>「3.5 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

※3 4. コード一覧参照。

※4 平成12年4月17日付インタフェース仕様書<サービス事業所編>「3.5 留意事項：「摘要」欄」参照。(P.113)

※5 サービス提供年月が平成15年4月以降、食事サービスの該当情報を設定する。

※S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、※Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・食事費用情報レコード

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	※1	
2	レコード種別コード	数字	2	05を設定する (食事費用情報レコード)		
3	サービス提供年月	数字	6	請求対象となるサービス提供年月 (西暦年月(YYYYMM))を設定する	※2	
4	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の 事業所番号を設定する	※3	
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証記載の保険者番号を設定する	※3	
6	被保険者番号	英数	10	被保険者証記載の被保険者の被保険者番号を設定する	※3	
7	基本食提供費用	提供日数	数字	2	基本食提供日数を設定する	※4 ※S
8		提供単価	数字	4	基本食提供単価を設定する	※4 ※S
9		提供金額	数字	6	基本食提供金額の合計を設定する	※4 ※S
10	特別食提供費用	提供日数	数字	2	特別食提供日数を設定する	※4 ※S
11		提供単価	数字	4	特別食提供単価を設定する	※4 ※S
12		提供金額	数字	6	特別食提供金額の合計を設定する	※4 ※S
13	食事提供延べ日数	数字	2	食事提供ののべ日数を設定する	※S	
14	公費1対象食事提供延べ日数	数字	2	公費1対象分の食事提供の延べ日数を設定する	※S	
15	公費2対象食事提供延べ日数	数字	2	公費2対象分の食事提供の延べ日数を設定する	※S	
16	公費3対象食事提供延べ日数	数字	2	公費3対象分の食事提供の延べ日数を設定する	※S	
17	食事提供費合計	数字	6	食事提供費の合計金額を設定する	※S	
18	標準負担額(月額)	数字	5	食事提供費の標準負担額(月額)を設定する	※S	
19	食事提供費請求額	数字	6	食事提供費請求額を設定する	※S	
20	公費1食事提供費請求額	数字	6	食事費用の公費1請求分を設定する	※S	
21	公費2食事提供費請求額	数字	6	食事費用の公費2請求分を設定する	※S	
22	公費3食事提供費請求額	数字	6	食事費用の公費3請求分を設定する	※S	
23	標準負担額(日額)	数字	4	食事提供費の標準負担額(日額)を設定する	※S	

※1 設定する内容は様式による。様式と交換情報識別番号の対応は特定診療費の項を参照のこと。

※2 平成12年4月17日付インタフェース仕様書<サービス事業所編>「3.5 留意事項:「年月」欄」参照。(P.113)

※3 4.コード一覧参照。

※4 サービス提供年月が平成15年4月以降の場合、本項目の設定は不要とする。設定された場合、シス

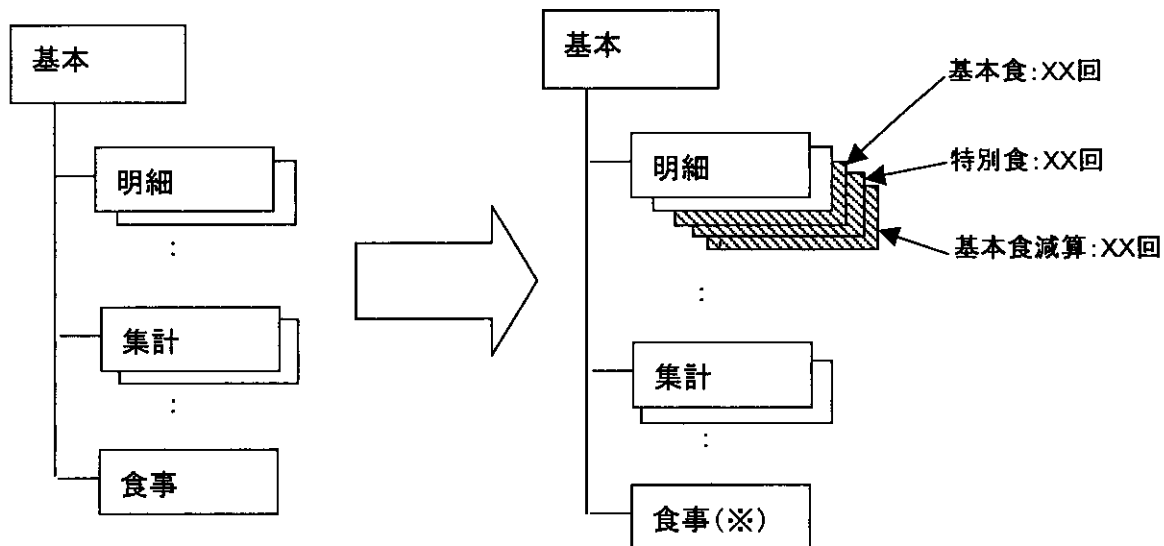
テムチェックは行なわず、省略されたものとみなす。なお、サービス提供年月が平成15年3月以前のサービスについては、従来通りのチェックを行なう。

※S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、※Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

(補足) 食事サービス費のレコード構造

(旧レイアウト：平成15年3月サービス分以前) (新レイアウト：平成15年4月サービス分以降)



(※)平成15年4月サービス以降は合計のみ

3. 2 介護給付費再審査申立書情報（サービス事業所／保険者→国保連合会）

項番	項目名	属性	バイト数	内容	必須入力	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	介護給付費再審査申立書の識別番号を設定する	○	サービス事業所：71B2 保険者：1742 ※5
2	申立年月日	数字	8	再審査の申立年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	○	※1
3	申立者区分コード	英数	1	申立者の区分コードを設定する	○	※2
4	事業所番号	数字	10	事業所番号を設定する サービス事業所等申立の場合は、申立事業所番号 保険者申立の場合はサービス提供事業所番号	○	※2
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証に記載された保険者番号を設定する。 サービス事業所等申立の場合は、被保険者の所属する保険者番号 保険者申立の場合は申立保険者番号	○	※2
6	被保険者番号	英数	10	再審査申立の対象となる被保険者番号を設定する	○	※2
7	サービス提供年月	数字	6	再審査申立の対象となるサービス提供年月（西暦年月（YYYYMM））を設定する	○	※3
8	サービス種類コード	数字	2	申立対象となるサービスのサービス種類コードを設定する	○	※2
9	サービス項目コード	数字	4	申立対象となるサービスのサービス項目コードを設定する 特定診療費の場合は、識別番号を設定する		※2 ※6
10	申立単位数	数字	8	申立単位数を設定する	○	※5
11	再審査申立事由コード	英数	4	再審査申立の事由コードを設定する	○	※4

- ※1 平成12年4月17日付インタフェース仕様書<サービス事業所編>「3.5 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)
- ※2 平成12年4月17日付インタフェース仕様書<サービス事業所編>「3.4 コード一覧」参照。(P.106)
- ※3 平成12年4月17日付インタフェース仕様書<サービス事業所編>「3.5 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)
- ※4 再審査の申立事由は、4桁の英数字属性のコードとし、申立情報作成の都度入力を行う。なお、内容については、審査及び統計の要件により定める。
- ※5 サービス提供年月が平成15年3月以前の交換情報識別番号は”71B1”（サービス事業所）、”1741”（保険者）を設定する。
- ※6 識別番号を設定する場合は、上2桁に“00”を付与して設定する。

※S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、※Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

3. 3 受給者異動連絡票情報

項番	項目名	属性	バイト数	内容	必須入力※1			備考
					新規	変更	終了	
1	交換情報識別番号	英数	4	受給者異動連絡票情報の識別番号を設定する	○	○	○	“5311”固定
2	異動年月日	数字	8	受給者の資格を取得または変更等が生じた年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	○	○	○	※2 ※15
3	異動区分コード	数字	1	異動区分コードを設定する	○	○	○	1:新規 2:変更 3:終了
4	異動事由	数字	2	受給者情報の異動事由を設定する	○	○	○	※5
5	証記載保険者番号	数字	6	被保険者証記載の保険者番号を設定する	○	○	○	※5
6	被保険者番号	英数	10	被保険者番号を設定する	○	○	○	※5
7	被保険者氏名（カナ）	英数	25	被保険者氏名をカナ文字で設定する	○			※14
8	生年月日	数字	8	生年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	○			※2
9	性別コード	数字	1	性別コードを設定する	○			※5
10	資格取得年月日	数字	8	資格取得年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	○			※2
11	資格喪失年月日	数字	8	資格喪失年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2
12	老人保健市町村番号	数字	8	老人保健市町村番号を設定する				※12
13	老人保健受給者番号	数字	7	老人保健受給者番号を設定する				※12
14	公費負担者番号	数字	8	福祉事務所番号を設定する 福祉事務所からの異動情報提出時のみ設定する				※5
15	広域連合（政令市）保険者番号	数字	6	受給者が広域連合又は政令市の市町村（行政区）に属する場合にのみ広域連合又は政令市の保険者番号を設定する				※5
16	申請種別コード	数字	1	申請種別コードを設定する				※5
17	変更申請中区分コード	数字	1	変更申請中区分コードを設定する				※4 ※5
18	申請年月日	数字	8	要介護状態区分の変更を申請した年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2
19	みなし要介護区分コード	数字	1	みなし要介護区分コードを設定する	○			※5 ※9
20	要介護状態区分コード	数字	2	要介護状態区分コードを設定する	○			※5
21	認定有効期間（開始年月日）	数字	8	認定有効期間の開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	○			※2

項番	項目名	属性	バイト数	内容	必須入力 ^{※1}			備考	
					新規	変更	終了		
22	認定有効期間（終了年月日）	数字	8	認定有効期間の終了年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	○			※2	
23	居宅サービス計画作成区分コード	数字	1	居宅介護支援事業者または自己作成の区分を設定する				※5 ※6	
24	居宅介護支援事業所番号	数字	10	居宅介護支援事業所の番号を設定する				※5 ※6	
25	居宅サービス計画適用開始年月日	数字	8	居宅サービス計画の適用開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2 ※13	
26	居宅サービス計画適用終了年月日	数字	8	居宅サービス計画の適用終了年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2	
27	訪問通所サービス	支給限度基準額	数字	6	被保険者証記載の訪問通所サービス支給限度基準額を単位数で設定する	○			※7 ※5
28		上限管理適用期間開始年月日	数字	8	訪問通所支給限度基準額管理期間の適用開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	○			※2
29		上限管理適用期間終了年月日	数字	8	訪問通所支給限度基準額管理期間の適用終了年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	○			※2
30	短期入所サービス	支給限度基準額	数字	3	被保険者証記載の短期入所サービス支給限度基準額を日数で設定する				※8 ※16 ※5
31		上限管理適用期間開始年月日	数字	8	短期入所支給限度基準額管理期間の適用開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2 ※16
32		上限管理適用期間終了年月日	数字	8	短期入所支給限度基準額管理期間の適用終了年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2 ※16
33	公費負担上限額減額の有無	数字	1	公費負担上限額減額の有無を設定する	○			※5	
34	償還払化開始年月日	数字	8	償還払化開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2	
35	償還払化終了年月日	数字	8	償還払化終了年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2	
36	給付率引下げ開始年月日	数字	8	給付率引下げ開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2	
37	給付率引下げ終了年月日	数字	8	給付率引下げ終了年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2	
38	減免申請中区分コード	数字	1	減免申請中区分コードを設定する				※5 ※11	

項番	項目名		属性	バイト数	内容	必須入力※1			備考
						新規	変更	終了	
39	利用者・旧措置入所者利用者負担	利用者負担区分コード	数字	1	利用者負担区分コードを設定する				※5 ※10
40		給付率	数字	3	利用者負担減免等により給付率が変更された場合に100分の〇〇〇で設定する				※10
41		適用開始年月日	数字	8	給付率の適用開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2 ※10
42		適用終了年月日	数字	8	給付率の適用終了年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2 ※10
43	標準負担・特定標準負担	標準負担区分コード	数字	1	標準負担区分コードを設定する				※5 ※10
44		負担額	数字	5	負担額を設定する				※10 ※7 ※5
45		負担額適用開始年月日	数字	8	負担額適用開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2 ※10
46		負担額適用終了年月日	数字	8	負担額適用終了年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2 ※10

※1：異動区分コードにより入力必須項目が異なる。（○：必須）

※2：平成12年6月16日付インタフェース仕様書<保険者編>「6.5 留意事項：「年月日」欄」参照。（P.1031）

※3：（欠番）

※4：受給者が要介護状態区分の変更を申請し、当該申請月内に保険者が決定できない場合は、申請月の異動情報に“2:申請中”を設定する。その後、申請月の翌月以降（決定月）に決定した場合は“3:決定済み”を設定し、申請が却下された場合等については“1:申請無し”を設定する。

要介護状態区分の変更等の申請が無い場合は何も設定しない。

※5：4.コード一覧参照。

※6：居宅サービス計画作成区分コード（項番24）が「1（居宅介護支援事業者）」の場合には必須。

※7：バウチャー等の利用があり、訪問通所支給限度額の事前切り分けがある場合は、その分を差し引いた額を設定する。

※8：要介護度に応じた限度額を設定。家族介護による短期入所サービスを拡大した場合は、本来の短期入所の支給限度額に合算して設定する。

※9：旧措置入所者（介護保険法施行法第13条）は“2:みなし認定（旧措置入所者）”を設定する。

※10：項番39～42は利用者負担の減免等がある場合に設定する。項番43～46は標準負担額の減免等がある場合に設定する。

※11：受給者が利用者負担の減免等を申請し、当該申請月内に保険者が決定できない場合

は、申請月の異動情報に“2:申請中”を設定する。その後、申請月の翌月以降（決定月）に決定した場合は“3:決定済み”を設定し、申請が却下された場合等については“1:申請無し”を設定する。

利用者負担の減免等の申請が無い場合は何も設定しない。

- ※12： 受給者が老人保健受給者の場合にのみ老人保健市町村番号および老人保健受給者番号を設定する。
- ※13： 「居宅サービス計画作成区分コード」が自己作成の場合、市町村へ居宅サービス計画作成依頼の届出日を設定する。また、居宅サービス計画を作成しない場合にあっては「2：自己作成」とする。
- ※14： カナ名の設定がない場合にあっては、半角文字のダミーデータ等を設定する。
- ※15： 要介護認定、減免申請等の申請において、申請日の翌月以降に決定し、当該申請の適用が申請時に遡って適用される場合は、申請日の属する年月の申請日以降の日付を異動年月日に設定する。
- ※16： 認定有効期間開始年月日が平成14年1月1日以降の場合、本項目の設定は不要（省略可能）とする。設定された場合、属性及び桁数等のシステムチェックは行わず、省略されたものとみなす。なお、認定有効期間開始年月日が平成13年12月31日以前の場合、従来通り（異動区分“1:新規”または当該項目に変更がある場合には設定が必要）とする。
- ※17： 本項目は、居住福祉型介護老人福祉施設の居住費低所得者対策の算定にも使用する。
- ※S： 固定長形式で表現する場合の「符号付きアンパック（ゾーン）10進数形式項目〔以下：符号付き形式項目〕」。
なお、※Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なしアンパック（ゾーン）10進数形式項目〔以下：符号なし形式項目〕」である。

3. 4 事業所異動連絡票情報

項番	項目	属性	バイト数	内容	必須入力 ^{※1}			備考	
					新規	変更	終了		
1	交換情報識別番号	英数	4	事業所異動連絡票情報（サービス情報）の識別番号を設定する	○	○	○	“5213”固定	
2	異動年月日	数字	8	事業所の指定等に関して取得または変更等が生じた年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	○	○	○	※2	
3	異動区分コード	数字	1	異動区分コードを設定する	○	○	○	※3	
4	異動事由	数字	2	事業所情報の異動事由を設定する	○	○	○	01（固定値）	
5	事業所番号	数字	10	事業所番号を設定する	○	○	○	※3	
6	管理者	氏名（カナ）	英数	25	管理者氏名をカナ文字で設定する				
7		氏名（漢字）	漢字	40	管理者氏名を全角文字で設定する	○			
8		郵便番号	数字	7	郵便番号を設定する	○			
9		住所（カナ）	英数	75	管理者の住所をカナ文字で設定する				
10		住所（漢字）	漢字	128	管理者の住所を全角文字で設定する	○			
11	事業所	名称（カナ）	英数	25	事業所名称をカナ文字で設定する				
12		名称（漢字）	漢字	40	事業所名称を全角文字で設定する	○			
13		郵便番号	数字	7	郵便番号を設定する	○			
14		住所（カナ）	英数	75	事業所の住所をカナ文字で設定する				
15		住所（漢字）	漢字	128	事業所の住所を全角文字で設定する	○			
16		電話番号	英数	12	事業所の電話番号を設定する	○			
17		FAX番号	英数	12	事業所のFAX番号を設定する				
18	サービス種類コード	数字	2	サービスの種類を設定する	○	○	○	※3	
19	指定番号	数字	2	指定番号を“01”～“99”の範囲で設定する	○	○	○	※6	
20	事業開始年月日	数字	8	事業開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	○			※2	
21	事業休止年月日	数字	8	事業休止年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2	

項番	項目	属性	バイト数	内容	必須入力 ^{※1}			備考
					新規	変更	終了	
22	事業廃止年月日	数字	8	事業廃止年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する			○	※2
23	事業再開年月日	数字	8	事業再開年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する				※2
24	施設等の区分コード	数字	1	施設等の区分をコードで設定する				※3 ※4
25	人員配置区分コード	数字	1	人員配置区分をコードで設定する				※3 ※4
26	特別地域加算の有無	数字	1	特別地域加算の有無をコードで設定する				1:無し 2:有り ※4
27	緊急時訪問看護加算の有無	数字	1	緊急時訪問看護加算の有無をコードで設定する				1:無し 2:有り ※4
28	特別管理体制	数字	1	特別管理体制の対応をコードで設定する				1:対応不可 2:対応可 ※4
29	機能訓練指導体制の有無	数字	1	機能訓練指導体制の有無をコードで設定する				1:無し 2:有り ※4
30	食事提供体制の有無	数字	1	食事提供体制の有無をコードで設定する				1:無し 2:有り ※4
31	入浴介助体制の有無	数字	1	特別入浴介助体制の有無をコードで設定する				1:無し 2:有り ※4
32	特別入浴介助体制の有無	数字	1	特別入浴体制の有無をコードで設定する				1:無し 2:有り ※4
33	常勤専従医師配置の有無	数字	1	常勤専従医師配置の有無をコードで設定する				1:無し 2:有り ※4
34	医師の配置基準	数字	1	医師の配置基準をコードで設定する				※3 ※4
35	精神科医師定期的療養指導の有無	数字	1	精神科医師定期的療養指導の有無をコードで設定する				1:無し 2:有り ※4
36	夜間勤務条件基準	数字	1	夜間勤務条件基準をコードで設定する				※3 ※4
37	痴呆専門棟の有無	数字	1	痴呆専門棟の有無をコードで設定する				1:無し 2:有り ※4
38	食事提供の状況	数字	1	食事提供の状況をコードで設定する				※3 ※4
39	送迎体制	数字	1	送迎体制の対応をコードで設定する				1:対応不可 2:対応可 ※4